

Adobe Acrobat を用いた場合に間違えやすいポイント

○「標準」のPDF設定に、「すべてのフォントを埋め込む」にチェックしただけでは、「常に埋め込まれないフォント」が残ってしまう。

Adobe Acrobat 以外の製品を用いて「全てのフォントを埋め込む」設定のヒント

※ 使用フォントやその他の条件に依存しますので、下記の解説は問題のないPDFファイル作成を保証するものではありません

クセロPDF2 <http://xelo.jp/xelopdf/xelopdf/index.html>

瞬簡PDF ZERO Ver.2.1 <http://xelo.jp/xelopdf/pdfzero/index.html> の場合

・PDF設定 - ・ジョブオプション:フォント で「全てのフォントを埋め込む」にチェック

PrimoPDF <http://www.xlsoft.com/jp/products/primopdf/download.html> の場合

・PDFの出力オプションとして「プリプレス」を選択

GhostScript などを用いて PostScript ファイル経由でPDFファイルを作成する場合

プリンタドライバ設定で「TrueTypeフォント」を「デバイスフォントと代替」→「ソフトフォントとしてダウンロード」に

PostScriptオプション 「TrueTypeフォントダウンロードオプション」を「アウトライン」または「True Type Native」に

Just PDF の場合

PDF設定 - フォントの埋め込み で「すべてのフォントを埋め込む」を選択

Just製品の場合、チェックされていないならば「常に埋め込まれないフォント」は空欄であるなくてもよいようだ